

安全性データー (SDS)

改訂年月日

2019年 5月 8日-

1. 製品名及び会社情報

製品名	ハルト(HALT)
一般名	サビ止め+リン酸亜鉛処理
製造元	米国製 BLAST OFF INTERNATIONAL CHEMICAL & MANUFACTURING COMPANY 201 Elsco Blvd Seaboard, NC27876
輸入総発売元会社	オーブ・テック株式会社
住所	東京都板橋区成増2-27-8
電話	03-5997-1691
FAX	03-5997-1689

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性	金属腐食性物質	:区分 外
健康性に対する有害性	急性毒性(経口)	:区分 4
	急性毒性(経皮)	:区分 3
	皮膚腐食性/皮膚刺激性	:区分 3
	目に対する重篤な損傷性/目刺激性	:区分 1
	呼吸器感作性または皮膚感作性	:区分 1
	吸引性呼吸器有害性	:区分 2

※記載無いものは分類対象外又は分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

飲み込むと有害性のおそれ
重篤な目の損傷
呼吸器への刺激のおそれ

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	含有量 %	CAS.No.	労働安全衛生法	PRTR法
水	60以上	7732-18-5	非該当	非該当
リン酸	20以上	7664-38-2	618号	該当
エタノール	2	64-17-5	61号	該当
塩酸	0.005	7647-01-0	98号	非該当(0.1%以下)
亜鉛	0.5	—	非該当	非該当
染色剤	0.5	非公開	非該当	非該当

シックハウス・シックスクール配慮

厚生労働省指針成分(13物質)は、未使用

4. 応急処置

皮膚 :長時間繰り返し接触した場合、皮膚炎を起こす可能性が有る。

目 :目に対して刺激的である。目が赤くなったりする可能性がある。

吸引 :蒸気を吸い込まないこと、製品が沢山散布される場合、マスク着用のこと。充分な換気の下で使用。

飲み込み :体内に取り込まれた場合、吐気が生きじるかも知れない。

応急処置 :体内に取り込まれた場合、大量の水を飲むこと。炎症又は症候が悪化しているように思えた場合、医師の診断を受けること。

皮膚・目 :水で洗い流す。炎症が消えない時は医師に見てもらう。

5.火災時の処置

消化剤 :炭酸ガス、水、粉末消火器

消化方法 :可燃性の物を周囲から取り除く

6.漏出時の処置

保護具及び緊急時処置 :作業の際には、手袋・保護眼鏡・マスクを着用する

環境に対する注意事項 :河川などへ排出され、環境への影響を起こさせないよう注意する。

浄化の方法 :おかぐず・土・砂・ウエスなどの吸着する物で対応する。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い :換気の良い場所で取り扱う

:保護具(手袋、マスク、ゴーグル)を着用する。

:取扱いの都度、容器を密閉する。

:容器を乱暴に取り扱いをしない。

保管 :直射日光を避ける。

:容器は腐食、割れない物を使用する。

8.暴露防止及び保護措置

設備対策 :通常の換気状態で使用する。

保護具 :手袋、マスク、ゴーグルを使用する。

9.物理的及び化学的性質(原液の参考値)

物理的状態 :液体

色 :うす紫

臭い :ライラック

沸騰点 :132°C

蒸気圧 :85mmHg

比重 :1.11

pH :1.8以下

水溶解度 :100%

10.安定性及び反応性

安定性 :一般環境下で安定

危険な反応 :情報なし

避けるべき条件 :情報なし

危険有害な分解生成物 :情報なし

11.有害性情報

急性毒性 (経口) :混合物判定理論経口 LD50推定値ATEmix >5000mg/kg のため区分外とした。

急性毒性 (経皮) :データー不足のため分類できない。

急性毒性 (吸引) :データー不足のため分類できない。

皮膚腐食性/刺激性 :データー不足のため分類できない。

目に対する重篤な損傷性/目刺激性 :本製品のpHが1.8以下のため区分1とした。

生殖細胞変異原性 :データー不足のため分類できない。

発がん性 :データー不足のため分類できない。

生殖毒性 :データー不足のため分類できない。

特定標的臓器(単回暴露) :データー不足のため分類できない。

特定標的臓器(反復暴露) :データー不足のため分類できない。

吸引性呼吸器有害性 :データー不足のため分類できない。

12.環境影響情報

残留性/分解性 :データーなし

BOD :データーなし

COD :データーなし

魚毒性 :データーなし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物 :少量の本液はもしくは洗浄後の廃液を廃棄する場合は、水で十分に希釈しながら
浄化槽もしくは下水に廃棄する。

	:大量に廃棄する場合は、内容を明示した上で免許を持った産業廃棄物処理業者に 処理を委託する。
汚染容器・包装	:空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後免許を持った産業廃棄物 処理業者に処理を委託する。

14.輸送上の注意

陸上輸送	:消防法 非危険物
海上輸送	:船舶安全法 非危険物
航空輸送	:航空法 危険物 (酸性物質) 不可
国際規制	
国連分類:該当しない	
国連番号:該当しない	

15.適用法令

消防法	:該当しない
PRTR法	:該当しない
労働安全衛生法	:該当
毒物及び劇物取締法	:該当しない
船舶安全法	:該当しない
航空法	:該当する

16.その他の情報

GHS対応ガイドライン 社団法人 日本科学工業会

本資料は、製品に関する情報提供を目的としたものであり、記載のデーターや評価に関しては必ずしも
安全性を十分に保証するものではありません。